

新庁舎は自治医大駅西側に



自治医大駅西側に賛成挙手する委員(2月26日、庁舎建設特別委員会にて)



しもつけ Shimotsuke-City 市議会だより

自治医大駅西側に新庁舎建設を承認——②

平成22年度予算一般会計199億9千万円——④

補正予算提出全会計が減額補正——⑥

庁舎建設特別委員会経過報告——⑧

市政をたず一般質問——⑩

新議員21名が決まる——⑭

NO. 16

平成22年5月15日発行

発行: 栃木県下野市議会

編集: 議会広報特別委員会

ホームページ: <http://www.city.shimotsuke.lg.jp/>

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

平成22年第1回定例議会は、2月23日から3月19日までの24日間の会期で開催されました。
今定例議会では、下野市庁舎建設特別委員会の調査結果報告が行われ、新庁舎を自治医大駅西側に建設することで承認しました。

そして、平成22年度各会計予算案12件を初めとして計46件の議案が提出され、慎重審議の結果すべての議案が原案のとおり可決されました。
また、一般質問では7人の議員が、それぞれ市の対応や考えを問いただきました。

庁舎建設問題が結審

第1回定例議会最終日の3月19日、本会議において、下野市庁舎建設特別委員会の調査報告が高山映副委員長から行われ、「下野市庁舎建設委員会の答申どおり、新庁舎は自治医大駅西側に建設すべき」との報告がなされました。（要旨は左ページを参照）

これを受けて、村尾議員から、「そもそも合併協定を反故にして、改めて新庁舎を建設するかどうかを検討し直した経緯があり、合併協定を信じた市民や議会を裏切るものである。また、自治医大北側の県有地の方は、用地費で1億3500万円も安くなる可能性がある。」と賛成討論がありました。

自治医大駅西側に新 下野市庁舎建設

庁舎建設特別委員会 調査報告要旨

「下野市庁舎建設基本構想」に基づき、次の6項目について協議した。

(1) 新庁舎建設の必要性について

3庁舎とも建設年次が古く、耐震性、ランニングコスト等を考慮し、長期的視野に立って、新庁舎を建設することで決定する。



本会議において調査報告をする高山映副委員長

(2) 分庁方式と本庁方式について

市民サービスの向上、経費の削減、業務効率の向上などから、本庁方式が望ましいと決定する。

(3) 建設時期について

合併特例債期限の平成27年度中の供用開始を目指すことで決定する。

(4) 財源について

財政面で有利な合併特例債を活用することで決定する。

(5) 既存施設の利活用について

3庁舎はいずれも建築年次が古く、解体も含め、有効活用の中で行政改革の観点も十分踏まえ、施設に応じたあり方を検討することが適当であると決定する。

(6) 庁舎建設位置(候補地)について

市の財政面、複合施設のあり方、発展性、交通の利便性、開発許可関係など積極的に議論し、採決の結果、下野市の将来を見据えた新庁舎は、自治医大駅西側に建築することで決定する。

以上、下野市庁舎建設委員会の答申どおり承認することに決定し、結審することになった。



採決の結果、賛成14名、反対7名で、下野市庁舎建設委員会からの答申のとおり、新庁舎は自治医大駅西側に建設すべきと決定しました。また、この報告をもって、本特別委員会の調査は終結することとなりました。下野市は今後、平成27年度中の供用開始を目指し、新庁舎建設のための準備を進めていくこととなります。

平成22年度
各会計予算

■平成22年度各会計予算

(千円・%)

会 計 名		予 算 額	前年度との比較	
			増 減	比 率
一 般 会 計		199億9000万0	15億1000万0	8.2
特別会計	国 民 健 康 保 険	51億635万3	5911万1	1.2
	後 期 高 齢 者 医 療	4億3701万1	6085万6	16.2
	老 人 保 険	583万9	△516万1	△46.9
	介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	27億2130万0	1億7930万0	7.1
	介 護 保 険 (介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	357万0	19万2	5.7
	公 共 下 水 道 事 業	16億6695万2	1億9921万8	13.6
	農 業 集 落 排 水 事 業	4億1893万1	△5270万5	△11.2
	下 古 山 土 地 区 画 整 理 事 業	7442万4	△1953万0	△20.8
	石 橋 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	4275万1	308万4	7.8
企業会計	仁 良 川 地 区 土 地 区 画 整 理 事 業	4億7496万1	△3918万7	△7.6
	水 道 事 業	11億7376万9	△2億6713万1	△18.5
総 計		321億1586万1	16億2804万7	5.3

一般会計199億9千万円
道の駅建設、がん検診無料化
などを計上

平成22年度各会計の当初予算が左表のとおりです

べて全会一致で可決されました。

一般会計の主な特徴としては、大型事業である「地域振興交流施設(道の駅)整備」、「がん対策事業」、国の施策である「子ども手当」の創設などが挙げられ、総額は21年度と比較して15億1千万円増の199億9千万円となりました。

一方、景気回復の見込みが極めて厳しい中、歳入の根幹である市税の落ち込みは避けがたく、依然として厳しい状況下での予算編成となりましたが、直面する国の景気対策との調整を図った積極的な予算編成となりました。

予算の執行に当たっては、最小の経費で最大の効果が得られるよう要望しました。

平成22年度注目の事業

がん対策事業

7038万9千円

がんの早期発見及び早期治療を図るため、胃がん肺がん(40歳以上)集団、大腸がん(40歳以上)、前立腺がん(50歳以上男)、子宮頸がん(20歳以上女)、乳がん(40歳以上女)集団の検診費用を無料にします。また、小学校6年生女子児童を対象に、子宮頸がん予防ワクチン接種を全額公費負担します。

地域振興交流施設(道の駅)整備事業

10億8320万4千円



建設中の道の駅

下野市の交流拠点施設として「地域振興交流施設(道の駅)」を整備し、農畜産物の高品質化、ブランド化等を図り、地場農産物や加工品等の販売を通じて、都市農村の交流や地産地消、シティセールス等を推進し、市民の一体感の醸成や新市融合を図り、あわせて地域活性化の実現を目指します。(平成23年4月オープン予定)

ひとり学び応援事業

1251万1千円

情報教育ネットワークを活用したe-ラーニング応援システム(ひとり学び支援システム)を石橋北小及び各中学校に設置し、児童生徒一人ひとりの能力適性に応じた学習環境を提供します。また、各中学校のコンピュータ機器の更新を行います。

まちづくり交付金事業（下長田地区）

1億2076万7千円

下長田地区の幹線道路3本の整備と水道管の敷設替えを行います。また、関連事業で下水道の整備を行い、地域全体の生活環境の整備を図ります。

地域情報化推進事業

4079万1千円

市地域情報化推進計画に基づき、地域イントラネット・地域情報流通基盤システムの維持管理及び有効活用を図るとともに、市民向けアプリケーションを運用し、市民サービスの向上と地域活性化を進めます。

南河内東部運動広場グラウンド整備事業

3600万円



3カ年計画で市のサッカー専用グラウンドとして整備します。今年度はグラウンド整備を行い、平成23、24年度で駐車場と夜間照明整備を計画しています。（総事業費9500万円）

庁舎建設事業

2800万8千円

新庁舎建設の基本計画を策定するとともに、庁舎建設に係る関係法令の事前協議を行います。

幼児2人乗用自転車購入費補助事業

45万円

幼児2人同乗用自転車購入費の2分の1（3万円限度）を補助します。

子ども手当・児童手当事業

12億5464万4千円

4月1日より、児童手当に代わり子ども手当が支給されます。対象となる子どもが中学3年生まで延ばされ、手当額も1人月額1万3千円に増額されます。また、所得制限が撤廃されます。

小学校校舎改修事業

3億7380万円



大規模改修を行う国分寺小学校

国分寺・古山・薬師寺・吉田東・吉田西・石橋北小学校校舎の耐震補強の実施設計や工事、大規模改修の実施設計や工事を行います。

中小企業制度融資及び促進事業

3億4361万4千円

市内の中小企業の振興を図るため、運転及び設備資金の融資制度を設置します。また、融資制度の利用促進と資金調達の負担軽減を図ります。

緊急雇用対策事業

9048万5千円

緊急雇用対策として、臨時職員を雇用したり、業務委託を行います。

住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

600万円

太陽光発電システムを住宅に設置する方を対象に、最大出力1kW当たり3万円（上限12万円）を補助します。

消防ポンプ車整備・消防器具置場建設事業

5184万7千円



老朽化した消防ポンプ車2台を更新して地域防災力の向上を図ります。また、老朽化した消防器具置場1棟を建てかえ、防災基盤の強化を図ります。

道路台帳統合化業務委託

4800万円

市情報化計画の一環として、市道路台帳を統合し、市道の機能性・利便性・安全性の向上を図ります。

平成21年度
補正予算

提出全会計が減額補正
公共施設整備基金等に2億3370万円

平成21年度一般会計ほか10会計の補正予算案が提出され、左表のとおりすべて全会一致で可決されました。提出された11会計すべてが減額補正となりました。

今回の一般会計補正は、

歳入においては、国からは、第2次補正できめ細かな臨時交付金を利用しました。また、きめ細かな臨時交付金を利用

平成21年度各会計補正予算

(千円)

会 計 名		補 正 額	補正後の予算額	
一 般 会 計		△6977万8	200億5701万9	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	△871万6	53億5163万6	
	後 期 高 齢 者 医 療	△594万4	3億8112万0	
	老 人 保 健	△245万3	1515万4	
	介 護 保 健 (保 健 事 業 勘 定)	△9563万5	26億109万4	
	公 共 下 水 道 事 業	△3060万0	14億8941万1	
	農 業 集 落 排 水 事 業	△378万3	4億8490万4	
	下 古 山 土 地 区 画 整 理 事 業	△279万8	9115万6	
	石 橋 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	△2391万4	1575万3	
企 業 会 計	仁 良 川 地 区 土 地 区 画 整 理 事 業	△2465万0	4億9949万8	
	水 道 事 業	収 益 的 収 入	△3829万3	8億2056万1
		資 本 的 収 入	△496万6	1億7451万6
		資 本 的 支 出	△2500万0	7億551万8

一般会計補正予算の主な歳出 (千円)

事 業	予 算 額
財政調整基金費	2362万2
公共施設整備基金費	2億0978万3
市道整備事業	1億3350万5
諏訪山公園高木煎定	1100万0
消防器具置場建設事業	4007万9
体育施設改修事業	1555万1

して、市道整備事業1億3350万5千円、消防器具置場建設4007万9千円を計上しました。一般会計は全体で6977万8千円を減額して、総額200億5701万9千円となりました。

教育委員会委員など
委員の選任に同意



人権擁護委員の候補者の推薦

3年の任期が満了になる曾根洋子氏を、人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦しました。(全会一致)

教育委員会委員の選任
4年の任期が満了とな

人権擁護委員の候補者

氏 名	住 所	新・再
そね ようこ 曾 根 洋 子	下野市祇園一丁目3番地4	再 任

下野市教育委員会委員

氏 名	住 所	新・再
ながやま しんいち 永 山 伸 一	下野市祇園四丁目1番地7	再 任
こぐち のりお 古 口 紀 夫	小山市西城南四丁目10番地19	再 任

下野市監査委員

氏 名	住 所	新・再
たきざわ まさひこ 瀧 沢 政 彦	下野市石橋325番地	再 任

下野市公平委員会委員

氏 名	住 所	新・再
なかじま かずなり 中 島 一 成	下野市石橋393番地5	再 任

監査委員の選任

4年の任期が満了となる瀧沢政彦氏について、引き続き下野市監査委員に選任しました。なお、委員の任期は、平成22年3月25日より平成26年3月24日までの4年間となります。(全会一致)

公平委員会委員の選任

4年の任期が満了となる中島一成氏について、引き続き下野市公平委員会委員に選任しました。なお、委員の任期は、平成22年3月24日より平成26年3月23日までの4年間となります。(全会一致)

教育委員会委員の選任

4年の任期が満了となる中島一成氏について、引き続き下野市公平委員会委員に選任しました。なお、委員の任期は、平成22年4月1日より平成26年3月31日までの4年間となります。(全会一致)

平成22年10月1日から

パスポート申請が 市民課窓口で可能に



パスポートイメージキャラクター、パスボくん



日本国旅券（パスポート）

県からの旅券事務の権限委譲に伴い、今年10月1日から市役所の市民課窓口でパスポートの申請が可能になります。その準備として、パスポート申請に必要な収入印紙および県収入証紙購入のための基金を設置する下野市一般旅券印紙等購入基金条例を制定しました。なお、基金の金額は300万円となります。

（全会一致）

条例

下野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

本市の消費生活センターの開所時間を1時間延長（午前9時から午後5時まで）することに伴い、消費生活相談員の報酬日額を8千円から9千円に増額するよう条例を改正しました。

（全会一致）

下野市職員の給与に関する条例及び下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

労働基準法の改正に伴い、月60時間を越える超過勤務に係る超過勤務手当の支給割合の引き上げ、当該支給に代えて行う代替休の指定などについて、条例を改正しました。

（全会一致）



南河内東公民館の陶芸用電気窯

下野市公民館設置条例の一部改正

これまで無料であった、南河内東公民館に設置してある陶芸用電気窯の使用料を、素焼き1回につき1800円、本焼き1回につき3000円とするよう、条例を改定しました。ただし、自主グループが利用する場合は2分の1、中学生以下の児童生徒が利用する場合は無料となります。

（全会一致）

下野市保育の実施に関する条例の一部改正

児童福祉法の改正に伴い、保育所における保育の明確化を図るため、文

言を整理するよう条例を改正しました。

（全会一致）

下野市子ども医療費助成に関する条例の一部改正

県が入院時食事療養費助成を廃止したため、本市においても県の制度に合わせ、入院時食事療養費助成を対象外とするよう条例を改正しました。

（全会一致）

下野市保健福祉センター条例の一部改正

平成22年4月からのふれあい館プールのフルオー



フルオープン制となったふれあい館プール

ブン制導入、及び現在使用していない南河内保健センターの廃止に伴い、条例を改正しました。

（全会一致）

下野市土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正

土壌汚染対策法及び栃木県土砂等の埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の改正に伴い、法許可施設の土砂等の埋め立て等を条例の適用対象外にするなど、条例を改正しました。

（全会一致）

小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業施行に関する条例等の一部改正

土地区画整理法施行令の改正に伴い、清算金の分割徴収について、所要の改正をしました。

（全会一致）

そのほか 決まった こと

栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更

平成22年3月29日から、栃木市、大平町、藤岡町、及び都賀町が合併し、新しく栃木市が誕生するこ

とに伴い、事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更の協議について、規定により議決しました。

(全会一致)

栃木県南公設地方卸売市場事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県南公設地方卸売市場事務組合規約の変更

新しく栃木市が誕生することに伴い、事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更

の協議について、規定により議決しました。

(全会一致)

栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更

新しく栃木市が誕生することに伴い、事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更の協議について、規定により議決しました。

(全会一致)

陳情を採択し、意見書を政府関係機関に提出しました。

(要旨)

急速に悪化する雇用失業情勢に対応し、「新たなセーフティネット」の構築に向けた予算措置が行われたが、窓口が別になっているなど、機能が十分に発揮され

意見書

社会的セーフティ ネットの拡充を

ないことが懸念される。また、生活保護制度は、国が責任を持って実施態勢を確保すべきである。また、総合支援策をワンストップサービスとして迅速かつ円滑に実施するために必要な事務改善と恒久的な制度化を行うことや、生活保護制度の円滑な実施に向け、運用の改善、実施体制の確保及び確実な財源保障を行うことを強く要望する。

下都賀地区視聴覚室
ライブラリー協議会
規約の変更

平成21年3月に締結した長田橋上部工工事請負契約について、照明工事等の増工により請負金額の増額が見込まれるため、工事変更請負契約の締結にあたって、議

(全会一致)

新しく栃木市が誕生すること、また、社会教育法の改正に伴う協議につ

工事変更請負契約の締結(長田橋上部工工事)

(全会一致)

意見書を政府関係機関に提出しました。
(要旨)
核兵器廃絶と恒久平和は私たち被爆国民の心からの願いである。

意見書 恒久平和と核兵器の廃絶と

しかし、核兵器は未だに世界に約2万1千発も存在し、核兵器の脅威から、今なお人類は解放されて

が、核軍縮はもとより核不拡散体制そのものが危機的状況に直面している。

よって、政府においては、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約再検討会議に向けて、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく核軍縮・不拡散外交に強力に取り組まれることを要請する。



建設中の長田橋

工事変更契約

工事名	市道石1-5号線 長田橋上部工工事
契約の相手方	東綱橋梁株式会社
変更前契約金額	1億5540万円
変更後契約金額	1億5887万5500円

市道路線の認定

開発行為に伴う帰属道路4路線(石橋地内、総延長195.8m、幅員4.0(7.4m)の認定に對し、議決しました。

(全会一致)

庁舎建設特別委員会経過報告

自治医大駅西への新庁舎建設で決着した、庁舎建設特別委員会の会議経過をお知らせします。

第3回(1月27日)

前回までに、合併特例債活用の期限である平成27年度中の供用開始を目指す、本庁方式で新庁舎を建設することを確認していた。第3回からの協議は庁舎の位置について。この日は、庁舎建設委員会が答申したJR自治医大駅西民有地に3か所を



会議の進行をした橋本委員長



加えた4候補地から選定することを決めた。

第4回(2月5日)

4候補地(①国道352号線付近の工業団地内、②自治医科大学北側民有地、③JR自治医大駅西、④国分寺庁舎とその周辺)を現地視察し、それぞれの候補地の特性を協議。不明な点について執行部に資料作成を依頼した。

第5回(2月17日)

4候補地から2候補地(②③)に絞り込んだ。候補地比較検討表をもとに庁舎建設地としてどちらが適当なのかさらに協議を進めた。「県有地取



得の方が経済的ではないか。」「今後の発展性、利便性を考えれば自治医大駅西だ。」建設委員会の各地域から出ている委員が議論し、最終的に納得して出した答申(JR自治医大駅西)を尊重したい。」などの意見が出た。

第6回(2月26日)

2候補地(自治医科大学北側民有地・JR自治医大駅西)をめぐる協議。採決し、新庁舎の位置を庁舎建設委員会答申どおり(JR自治医大駅西)と決めた。採決の内容は、自治医科大学北側民有地賛成者8人、JR自治医大駅西賛成者13人であった。

花田芳実議員逝去



花田芳実議員が、今年4月25日に逝去されました。59歳。

同議員は、旧南河内町時代に経済建設常任委員長、下野市

においては教育福祉常任副委員長等を歴任され、市政の発展に多大な貢献をされました。

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

議会を傍聴してみませんか？

平成22年第2回定例議会は、6月2日(水)の開会を予定しております。傍聴を希望される方は、本会議当日、市役所国分寺庁舎3階議会事務局前に直接お越しください。その際、備え付けの受付票に住所・氏名を記入し、受付箱に投函していただきます。

日程が決まり次第、市ホームページ

<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

でお知らせいたします。

市議会本会議の会議録が検索できます

①ホームページで閲覧 会議録検索システム

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/shimotsuke/shimotsuke.html>

②市内3図書館で冊子を閲覧

・南河内図書館・石橋図書館・国分寺図書館

市政をたただす

一般質問

第1回定例議会では、2月25日及び26日に7人の議員が市政に対し一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。なお、質問文の掲載は1人につき1件としています。

目黒 民雄 議員

1. 第二次行政改革大綱について
2. 商工業の活性化について
3. 校庭・公園の芝生化について



問 小・中学校の校庭及び公園の芝生化について

答 先進事例等を調査し研究する

問 現在、全国的に注目されている鳥取方式、ポット苗移植法による校庭や公園の芝生化について伺う。

答 市長 市内の公園

式は従来の行政による芝生化と異なり、地域住民が主体となり、芝苗自体をポットで育成し、移植、肥料散布、芝刈り、水ま

き等を自ら行うことで低コストを図っている。この方式の成否のカギは、NPOの代表となる指導者と地域の市民ボランティアの方々であると考えらる。今後、公園の造成時の参考として検討していきたい。

教育長 校庭の芝生化については、子供の運動や情操面での効果、また芝生によって土ぼこりが立たない、温度上昇が抑制できるような環境面の効果、さらに芝生化された校庭を開放することによって、地域住民との交流が盛んになることなど多くの利点がある。この方式が栃木県の気候や土壌に適合するか検証し先進事例等を調査しながら研究していきたいと思う。



芝生で元気に走り回る子どもたち



石田 陽一 議員

1. 調整区域の規制緩和について
2. 職員の人事評価の進捗状況は



現庁舎のあり方はどう変わっていくのか

問 調整区域の規制緩和をせよ

答 都市計画マスタープランの中間見直しの中で検討

問 新都市計画法は昭和43年に制定され、44年に施行された。旧石橋町では45年10月1日より導入、国分寺、南河内も同じころだと思う。そのとき地権者はもちろんのこと、役所でも線引きによる影響等については、全く考えが及ばなかったと思う。法の第6条にお

おむね5年ごとに知事は

都市計画に関する基礎調査として、現況及び将来の見直しについて調査を行うものと定めてある。法制定から約40年が経過している。この地区の調査は行われたのか。旧集落地区の人口減少対策及び活性化を図るため、今こそ調整区域の規制緩和をすすめ、

地域住民の活力を引き出すべきと考えるがいかがか。

答 市長 今後の社会状況を見きわめながら、次回の都市計画マスタープランの中間見直しにおいて、市民の皆様の意見を広く拝聴しながら、見直し作業の中で規制緩和について鋭意検討していく。



住宅地に囲まれた調整区域

吉田 聡 議員

1. 次世代育成支援(後期計画)について
2. 行財政改革について
3. 通学路の整備について

問 行財政改革の成果は

答 総体で3億円以上のコスト縮減

問 行政改革大綱に掲げられた「事務事業の見直し」等による財政効果、並びに「公共施設の統廃合・機能集約」における具体的な成果を伺う。

答 市長 職員数の縮減により約2億2千万円、市単独事業の見直しにより約1300万円、上下水道徴収・検針

業務の委託により約2800万円等のコスト削減効果が得られた。統廃合・機能集約においては、検討を進めているが新たな結論を見出すまでに至っていない。

問 第二次行革大綱には、行政組織のスリム化、効率化が強く求められており、新庁舎においては利便性だけでなく、

く、行革の観点からも期待している。建設によって公共施設の在り方はどう変わっていくのか。

答 市長 現庁舎については、解体・売却等を含め広く活用について検討していく。市民課窓口機能やワンストップサービスのあり方については、不便にならないよう検討したい。



若林 稔 議員

1. 水田と家庭の冠水対策の排水ポンプ設置について



相談者側に配慮した電話相談を

問 水田の冠水と民家の浸水対策を

答 今後の状況を見てから検討

問 箕輪地区の雨水はほとんど箕輪城跡地下の東館ひがたてに流入している。温暖化による異常気象でゲリラ豪雨、台風時期の大雨などで、姿川が増水になつて水位が上がり流末の堤防にある樋門から逆流してくるため、樋門を閉じることにより排水がでず雨水の

流入によって水田が冠水して、稲の被害が甚だしく、また、民家の庭先まで浸水して悩まされている。緊急時に備え排水ポンプの設置をお願いしたい。

答 市長 地域住民の不安を解消するよう雨水対策として、平成20・21年度で市道1・7号線の道路改良

工事です。雨水の流入経路の分散や浸透性の側の溝の布設などで東館の水田への雨水流入の軽減を図っている。しかし、雨水流入が解消できない状況が続く場合には、排水ポンプ等の設置も考えていかなければならない。

入るよう雨水対策として、平成20・21年度で市道1・7号線の道路改良

磯辺 香代 議員

1. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画について



問 「DV防止基本計画」の策定が必要だ

答 策定に向け検討する

問 DV防止法の改正で、これまでは県への義務規定であった基本計画の策定が努力義務だが市町村にも求められた。県内でもDVに端を発する傷害・殺人事件が後を絶たず、事件の回避、DVそのものの未然防止施策が必要だ。DVは人権問題との認識の下、課題を整理し施策を着実に

推進するため、「DV防止基本計画」を策定すべきと思う。

答 市長 DVを許さない社会づくり、相談体制の充実、各関係機関との連携、被害者の自立支援等がスムーズにできるよう努力してきたが、それらを体系的に取りまとめた「DV防止基本計画」が必要だ

と考えている。策定に向け検討していく。

問 本市のDV相談電話番号は児童福祉課の番号である。相談者側の心理に配慮し、専用電話とされたい。

答 市長 相談事業には個室の確保や安全の配慮などの課題はあるが、専用電話設置などできることから検討する。



増水時には逆流対策で閉じられる樋門



村尾 光子 議員

1. 予算編成過程の公表と市民へのわかりやすい情報提供を求める
2. 試行中の人事評価制度を公表されたい
3. 職員昇任試験を実施されたい
4. 市役所は率先して環境配慮行動を実践されたい
5. イベント、お祭りなどの開催支援策について、統一すべきではないか



国分寺駅東児童館で過ごす児童

答 市長 例年10月上旬に新年度予算編成方針を作成し、1月下旬に予算案を確定した後、

問 新年度の予算編成作業は前年秋から着手されている。予算編成方針、編成過程、総合調整などのスケジュールと内容は早期に公表し、市民にわかりやすく情報提供されたい。

問 予算編成過程の情報提供を

答 編成方針とスケジュールはホームページ等で公表

議会での説明、予算書の作成に至るまでの作業期間は約5カ月である。市民に現在の地方財政の動向や本市の財政状況などを理解していただく機会として、予算編成方針、予算編成のスケジュールについては今後、ホームページなどで公表する。予算の編成過程での公

表は差し控えたい。しかし、予算編成の透明性の確保や市民との情報の共有化を図り開かれた市政を推進するためには、市民が市の財政に関心を持つことにより、新たな視点での市政参画が促進されることを考える。市民が理解しやすい公表の方法や内容については調査研究する。



市から発行された平成22年度各会計予算特集号

塚原 良子 議員

1. 「次世代育成支援行動計画」放課後児童健全育成事業について



問 国分寺地区学童保育の環境改善を

答 現状を把握して対応をしていく

問 学童保育施設は新築・改装がなされ良好な施設環境が整いつつある。しかし、国分寺地区の駅東児童館での学童保育施設は一般の子供との共有スペースを入れても31畳に40名。西児童館は44畳に57名と、数年来の不況で仕事を持つ家庭が増え、飽和状態。体調の悪い子供が休むス

答 健康福祉部長 国分寺地区は、児童館で学童保育を実施しており、ホールや運動場も

スペースもなく、放課後児童の健全育成・安全・安心な施設とは言いがたい。市長は国分寺地区の学童保育環境を視察し、現状認識をされたか。今後の保育室の整備計画策定の考えを伺う。
市長 国分寺地区の学童保育室の視察はしていない。保育室の整備計画は、現状を把握し、策定方法・方向を検討する。

2月

- 3日 全国市議会議長会基地協議会総会
- 5日 下野市庁舎建設特別委員会・現地調査
- 10日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 17日 下野市庁舎建設特別委員会
- 23日 第1回定例議会(本会議)
議会運営委員会
- 24日 第1回定例議会(本会議)
- 25日 第1回定例議会(本会議)
- 26日 第1回定例議会(本会議)
下野市庁舎建設特別委員会
議員全員協議会

3月

- 1日 第1回定例議会(本会議)
議会広報特別委員会
- 2日 第1回定例議会(総務常任委員会)
- 5日 第1回定例議会(経済建設常任委員会)
議会運営委員会
- 10日 第1回定例議会(教育福祉常任委員会)
- 17日 議員全員協議会
石橋地区消防組合議会定例会
- 18日 小山広域保健衛生組合全員協議会
小山広域保健衛生組合議会定例会
- 19日 第1回定例議会(本会議)
5日 議会広報特別委員会
栃木県南公設地方卸売市場事務組合議会定例会
- 26日 議会広報特別委員会

4月

- 2日 栃木県市議会議長会監事会
- 14・15日 栃木県市議会議長会会議(鹿沼市)
- 18日 市議会議員選挙告示
- 25日 市議会議員選挙投票日
- 27日 関東市議会議長会定期総会

新議員21名が決まる

4月25日執行の下野市議会議員選挙の結果、次の21名が市議会議員に当選いたしました。なお、議員の任期は、平成22年5月1日より平成26年4月30日までの4年間となります。

■下野市議会議員選挙当選者 (敬称略、50音順)

ふりがな氏	年齢	党派	当選回数	職業
あきやま ゆきお 秋山 幸男	61	無所属	2	農業
いざわ つよし 伊澤 剛	66	無所属	2	会社役員
いしだ よういち 石田 陽一	59	無所属	2	会社役員
いそべ かよ代 磯辺 香代	55	無所属	2	無職
いわた ひろみ 岩永 博美	71	無所属	2	無職
おしま まさひろ 大島 昌弘	51	無所属	1	農業
おしま まさよし 大島 将良	68	無所属	2	会社役員
おかもと てつお 岡本 鉄男	66	無所属	2	会社役員
くらい けんいち 倉井 賢一	68	無所属	2	農業
こや のはるお 小谷野 晴夫	52	公明党	2	会社役員
さむら かずお 坂村 和夫	62	無所属	2	洋服仕立
すどう いさむ 須藤 勇	60	無所属	2	農業
たかはし よしいち 高橋 芳市	65	無所属	1	会社役員
たかやま としお 高山 利夫	62	無所属	2	農業
つかほら りょうこ 塚原 良子	63	無所属	2	無職
のだ よしかず 野田 善一	59	無所属	2	酒販会社役員
まつもと けんいち 松本 賢一	63	無所属	2	会社役員
むらお みつこ 村尾 光子	61	無所属	2	無職
めぐろ たみお 目黒 民雄	72	無所属	2	理容業
よしだ さとし 吉田 聡	35	無所属	2	会社員
わかばやし みのる 若林 稔	67	無所属	2	無職

※年齢は5月1日現在

※当選回数は、在任特例期間を含まない



議会広報特別委員会

- (4月30日任期満了)
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 磯辺 香代 |
| 副委員長 | 石田 陽一 |
| 委員 | 坂村 和夫 |
| | 若林 稔 |
| | 野田 善一 |
| | 目黒 民雄 |

次号(第17号)は8月15日に発行します

このメンバーでの編集作業も今回が最後となりました。

初心者編集委員にて、行き届かない面が多々あったかと思いますが、なんとかして市民の皆様目の留まるような議会だよりにしたいたい、委員皆で知恵をしぼってまいりました。いかがでしたでしょうか。

また、事務局の方々にもお手伝いいただき、現在の紙面が出来たと思っております。

2年間ご愛読いただきありがとうございました。改選後は新しい編集委員にバトンタッチです。

(磯辺 香代)

編集後記